

平成29年1月4日

社長年頭挨拶

日本生命保険相互会社
社長 筒井義信

日本生命保険相互会社（社長 筒井義信）は、年頭挨拶として、社長から全役員・職員に向け、メッセージを送りました。社長からのメッセージの要旨は以下のとおりです。

平成29年のスタートにあたり、一言ご挨拶を申しあげます。

昨年、世界では英国のEU離脱や米国大統領選挙等の大きな動きがあったことに加え、国内ではマイナス金利政策の導入による金利の大幅な低下等、様々な環境変化がありました。

本社は3カ年経営計画「全・進」の2年目として、「中長期的な成長基盤の構築」と「揺るぎない国内No.1プレゼンスの確立」に取り組んできましたが、こうした環境変化を受け、まさに正念場の1年となりました。

低金利環境の中、創意工夫を凝らした取組として、高齢化・少子化という構造課題の解決に資する画期的な新商品「Gran Age」「ChouChou!」を発売しました。本社が誇るこれらの商品ラインアップを活用し、きめ細やかなコンサルティング活動に取り組んだことで、厳しい環境ながらも、営業職員チャネルの保険料等収入が上半期でプラスを確保する等、全社一丸となって着実に前進しました。

迎える平成29年も、米国の新大統領就任や欧州主要国の国政選挙等、様々な世界的政治イベントが予定されていることに加え、低金利という厳しい環境は継続するものと想定されます。

私はこうした環境変化こそ、進化を遂げるチャンスだと捉えております。すなわち、本社がより遅く、より磨きあげられた企業に発展するチャンスだということです。そのためには、従来の枠組みや固定観念に捉われない構造革新を加速させ、職員一人ひとりが積極果敢にチャレンジしていく必要があります。

販売面では、主力商品である「みらいのカタチ」を軸に、多様なお客様ニーズにお応えすべく、商品ラインアップの拡充や販売チャネルの高度化に努め、引続きお客様の輪を拡げてまいります。

また、資産運用面では、これまで以上に投融資手法を多様化し、利回り向上を図るとともに、リスク対応力を強化し、長期安定的な収益の確保に取り組んでまいります。

さらに、グループ戦略面では、三井生命や豪州MLCとのシナジー効果の創出等、スピード感を持って、グループとしての価値向上を進めてまいります。

本社は、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」にゴールドパートナーとして参画しております。私たちとしては、この2020年という節目を見据え、高い目標を志し、自分自身を磨きあげてまいりたいと思います。そして、その目標を達成し、次の新たな目標にチャレンジする、この好循環を繰り返す中で、着実に成長してまいりましょう。

今後、社会保障制度や人口動態等、本社を取り巻く環境は一段と変化し、お客様ニーズは更に多様化が進むと考えられます。本社が10年後・20年後も変わらずお客様から選ばれ続けていくためには、社会保障制度の補完や少子高齢化への対応といった社会的使命感のもと、いかなる環境でも様々なお客様ニーズにきめ細やかにお応えしていくことが重要となります。こうした長期ビジョンを持って、一步一步着実に進んでいくことが、本社経営理念である「国民生活の安定と向上に寄与する」ことに繋がると確信しております。

この平成29年も全員がお客様とともに引続き「全・進」することで、お客様、日本生命、私たちにとって、輝かしい1年にしてまいりましょう。

以上